

## 第5回 畠山公開シンポジウム

# KOGEI とジャポニスム—産業と芸術で見直す近代

欧米でジャポニスムがわきおこった 19 世紀後半、日本から海外に向けてさかんに工芸が輸出された。欧米人のまなざしを意識して制作された明治工芸は産業であると同時に美術でもあるという二重の性格を帯びていたが、近年こうした背景を踏まえ、工芸を単純に CRAFT と訳すのではなく、あえて KOGEI として海外にアピールしようとする動きがあらわれてきた。また、「超絶技巧」と呼ばれる明治工芸に対する人気は日本国内においても高まりを見せてもいる。こうした現状を踏まえ、あらためてジャポニスムと工芸について検討したい。



日時：2015年 11月27日（金）14時30分～17時

11月28日（土）10時～17時30分

会場：帝京大学霞ヶ関キャンパス（平河町森タワー9階）[入場無料]

主催：ジャポニスム学会

共催：公益財団法人畠山文化財団

協力：帝京大学